

再生医療技術を獣医療に導入！ ペットのQOL向上を目指す 飽くなき探究心



Ouji Pet Clinic
王子ペットクリニック

Doctor
重本仁

東京都北区の王子ペットクリニック。ここでは、他院ではあまり見られない先進医療を積極的に取り入れている。その一つが、再生医療だ。ヒトの医学においても将来性が期待されるこの技術を、いち早く獣医療の現場に取り入れたのだ。獣医再生医療研究会の幹事も務める、重本仁院長。研究会を通じて最新の技術を学び、5年前の開院当初から再生医療（詳細は47ページ）に取り組んでいる。

「主に行う再生医療は、血液からリンパ球を抽出し、増殖して体内に戻す、免疫療法と呼ばれるものです。診療例を重ねる中でも副作用が非常に少なく、腫瘍細胞と戦う自己免疫力を高め

元気や食欲を出すのに非常に適した治療法といえます」

同院では他にも、血管奇形による血流異常（門脈シヤント）を治療する外科手術にも取り組んでいる。重本院長を先進医療に駆り立てるもの、それは動物たちのQOL（Quality Of Life）向上への飽くなき願いだ。「特に、ペットの寿命が延びている今、がんの予防は獣医療の大きなテーマです。質の高い医療を取り入れ、動物たちがより健康に過ごすためにできることをしてあげたいのです」



動物の体内から取り出したリンパ球を培養。同じ動物の体内血液に戻し、免疫力を高める。

から検査器具に頼るのではなく触診、視診、聴診を入念に行っている。血液検査で異常がなくても、触診で「できるもの」が見つかる場合もあるからだ。

「家での様子を詳しく知り、実際に動物に触れてみる。そのいづれがかけても、正確な判断はできません。飼い主の方にも協力をいただいて、動物たちが一刻も早く健康になるための最善策を尽くします」